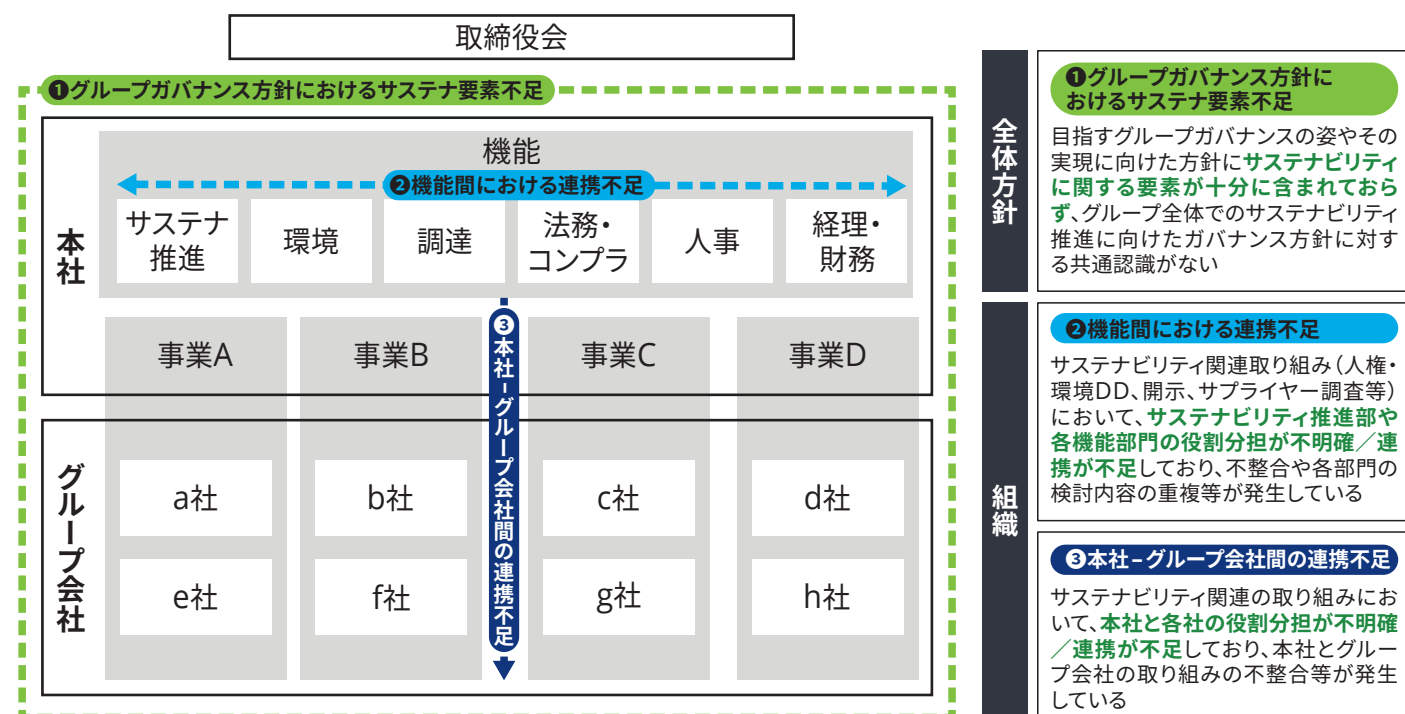


経営戦略と一体化したサステナビリティ推進体制構築 - サステナビリティ・ガバナンス -

経営戦略とサステナビリティが一体化するにつれ、経営計画の策定やリスク管理との統合、情報開示、グループ会社管理を担う推進体制の見直しが必要です

サステナビリティ推進体制構築における3つの主な課題

サステナビリティ経営を実践していくためのステップを踏んでいくためには、全体方針を持ちながら、各部署の役割や、本社と事業会社の役割を整理していく必要があります。一方、①グループガバナンス方針におけるサステナ要素不足、②機能間における連携不足、③本社-グループ会社間の連携不足のような課題を持っている企業が多く存在します。



サステナビリティ・ガバナンス構築に向けた対応

企業経営の中枢にサステナビリティ活動が位置づけられ、サステナビリティ経営が進捗するにつれ、体制も変化させていく動きがあります（例：サステナビリティ推進部門を廃止し、経営企画部門に統合）。

一方で、従来から実施している経済価値を追求した企業の組織体制にサステナビリティ経営の活動を統合する際、①本社内の役割分担【横軸】、②本社と事業会社（グループ会社）の役割分担【縦軸】について、整理されている企業が増えています。

①【横軸】本社内の役割分担の例

- コンプライアンスや危機管理等従来から実施しているリスク管理活動に、サステナビリティに関するリスク管理活動を取り込む（リスクマネジメント委員会とサステナビリティ委員会の統合）
- 有価証券報告書（SSBJ対応）、統合報告書・アニュアルレポート（CSRD対応）など、様々な非財務情報に関する開示媒体の責任部署（経理・財務部門、経営企画部門、サステナビリティ担当部門等）を整理

②【縦軸】本社と事業との連携・役割分担の例

- 欧州子会社においては、サステナビリティへの取組みが先行しており、独自に戦略や目標を設定していたり、CSRD対応に向けて非財務情報開示も先行していることから、当該子会社の実施事項を本社に逆インストールする
- 非財務情報の収集に向け、本社・事業会社間や地域統括会社を設けている場合の権限・責任、役割の整理など

サービス概要

戦略を遂行する組織として、以下のような項目から確認を行い、最適な推進体制を検討し、権限・責任の明確化、レポートラインの設計を支援します

フレームワーク	項目	主な確認観点
戦略	経営理念・ビジョン、サステナビリティ方針	<ul style="list-style-type: none"> グループの経営理念・ビジョンに対してサステナビリティ方針の理念体系がアラインしており、グローバル全体に周知しているか
	経営戦略・中期経営計画、マテリアリティ	<ul style="list-style-type: none"> グローバル全体の成長に向けた経営戦略・中期経営計画にマテリアリティやサステナビリティに関する内容が織り込まれているか サステナビリティに関する具体的な取り組み計画が策定されているか
	グローバルサステナビリティガバナンス基本方針	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティに関するグローバルガバナンスに関する基本的な方針を整備しており、グローバル全体に適用しているか
組織	役員配置	<ul style="list-style-type: none"> 本社からグローバル各社へのサステナビリティ関連の役員の設定方針、派遣方針、派遣ポジションを定めているか
	グループ組織構造	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略、グローバルガバナンス方針を踏まえ、サステナビリティに関するグローバルガバナンスを最適化する組織構造となっているか
	サステナビリティ委員会・会議体	<ul style="list-style-type: none"> グローバル全体を取りまとめる委員会・会議体を定義の上、委員会・会議体の目的、主なアジェンダ、開催頻度、参加メンバー等を定めているか また、グローバル各社の委員会・会議体設置方針を定めているか
	機能配置	<ul style="list-style-type: none"> 本社／海外統括会社とグローバル各社の機能配置方針を定めているか 最低限グローバル各社に配置すべき機能、各社に配置せず本社／海外統括会社で集約すべき機能が明確になっているか
	レポートライン	<ul style="list-style-type: none"> グローバル各社から本社／海外統括会社への報告項目、報告先、報告頻度を定めているか

合同会社デロイト トーマツ

Mail ra_info@tohatsu.co.jp

URL www.deloitte.com/jp/dtllc

【国内ネットワーク】東京・大阪・名古屋・福岡

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーである合同会社デロイト トーマツ グループならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、合同会社デロイト トーマツ、デロイト トーマツ 税理士法人およびDT 弁護士法人を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内30都市以上に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループWebサイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を含みます。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課したまたは拘束させることはありません。Deloitte Globalおよびその各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。Deloitte Globalはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは保証有限責任会社であり、Deloitte Globalのメンバーファームです。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オーストラランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能な継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.comをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDeloitte Global、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対しても責任を負いません。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2026. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲はこちらをご覧ください
http://www.bsigroup.com/clientDirectory